この会報は行政区等を通じて青少年育成牛久市民会議に賛同された会員の会費により製作されています。

会報 ふれあい

No.75
令和8年8月1日

発行・編集　青少年育成牛久市民会議　　事務局　生涯学習課 TEL.871-2301

市制施行40周年
第37回 うしく・鯉まつりが盛大に開催されました



青少年育成牛久市民会議
会長　田井鉄男

鯉まつり当日は五月晴れのお祭り日和となりました。

今年は開会式の前に市内の高校生による壁画のお披露目もあり、いつもより人出が多かったように感じました。各高校生にも牛久の鯉まつりを宣伝できたものと思われます。

前日の準備の時、池に鯉のぼりが落ちているのを見つけたつくば市内の小学生は鯉がかわいそうだからと長い枝を使って池から鯉を救出してくれました。明日は他の用事があり参加できないので、鯉のぼりだけでも見たいとお母さんと共に訪れてくれました。お母さんは「昔見た大きな鯉のぼりが大空を泳いでいる姿を見せたくて」とおっしゃっていました。近隣市町村の方々も昔からうしく鯉まつりを楽しみにしていることがよく分かるエピソードでした。

今年の参加者は、幼稚園・保育園児を連れた若いご家族がいつもより多かった気がしました。

幼稚園・保育園児によるパネル展示は午前も午後もパネルの前に立ち、ご家族に指で自分の携わったパートを得意げに示している姿もすごく微笑ましい光景でした。

民生委員の方々による魚釣りが大人気で多くの子ども達が行列をなしていました。

小学校の女の子が朝からずっとベーゴマに挑戦し、最後は見事ベーゴマを回すことができたと実行委員から教えていただきました。それ位集中できるお祭りが開催できたことは望外の喜びです。どのコーナーも皆様に多数の列に並んでいただき楽しんでいただいたことと思います。

来年も皆さんに楽しんでいただける鯉まつりを実行委員の方々と共に開催していきたいと思います。



GWの華うしく彩る鯉まつり
こいの～ぼ～り80匹♪



市制施行40周年記念壁画の除幕式！

牛久市のゴールデンウィークを彩る「第37回 うしく・鯉まつり」が５月３日に市役所西側近隣公園で開催されました。

今年は市制施行40周年です。沼田市長の挨拶の後、池面の白布で覆われたステージ壁面の幕が開かれ除幕式が執り行われました。そこに現れたのは、壁一面に描かれた壁画でした。牛久シャトー、大仏、桜やチューリップの花など皆素晴らしい出来栄えでした。参加した市民の方は感動と驚きで最高の時間が流れました。これらの壁画は東洋大学附属牛久高校、県立牛久高校、県立牛久栄進高校、つくば開成高校の生徒達が作成にあたり、各校の代表者による作成エピソード報告がありました。



80匹の鯉のぼりとステージ



子ども達のクラッカーで鯉まつりスタート

除幕式に続いて鯉まつりの開会セレモニーが始まり、幼稚園、保育園の子ども達が元気に入場。保育園児によるクラッカーが鳴らされてまつりがスタートしました。

続いてダンスクラスの子ども達のダンスやフラダンスの演出が行われステージは最高に盛り上がりました。



ステージで元気に踊る小学生

子ども達の声は幸せの声
夢の広場

前日の大風は5月の薫風と変わり、「第37回うしく・鯉まつり」の開幕です。「バルーンアート」、「まとあて」は人気のセクションで人の絶えることはありません。

バルーンのテントは、自分の好きな色・形の作品を選んでもらえるコーナーと、体験型「作って遊ぼうバルーンアート」のコーナーを設け、家族ぐるみで楽しむ姿が多く見られました。

特に今年は多くのボランティアの皆さんに参加して頂き、大変助かりました。



バルーンで刀づくり

子ども達に人気の広場
希望の広場



みんな上手に竹ポックリ

キャタピラーゲーム・竹ぽっくりレース・テーブルカーリング・水中コイン入れ・輪投げの５種類で構成されます。開始時はポツポツと並んでいた列も次第に増減を繰り返し入場数が増えました。

子ども達は幼児から小中学校高学年まで幅広く参加し親子共々楽しんでいます。またある親子は久しぶりに再会したのか思い出話に花を咲かせており、近くで見ていると笑顔があふれ本当に楽しんでいる様子が伺えました。広場の企画運営の準備は年明けから始まり、親子の笑顔を見るのを楽しみに毎年活動しています。

昔ながらの遊びで盛り上がる創造の広場

折り紙で作る鯉のぼりは細かい作業が多く例年混雑していましたが、今年は事前に幼児向けに風車部分を準備していたことで、いつもの倍近い子ども達に提供することができました。当日はボランティア６名の協力もあり、広場の運営はスムーズに進みました。

ベーゴマは子ども達だけでなく、祖父母や保護者世代も一緒に楽しみ、竹ぽっくりやけん玉、お手玉、あやとりなどを通して親子が仲良く会話を交わす暖かな光景が見られました。


これからベーゴマを投げ入れるぞ

会場ぐるりと取材紀行

芝生の丘と木々の間、市役所北側の駐車場では、ボーイスカウトをはじめとする多くの団体が、毎年様々な体験コーナーを開設して子ども達を楽しませてくれています。


ビー玉ゲームは頭脳プレイ !?

引き続き会場内を回ります。とても上手に手の上でこまを回している女の子を発見!!


コマが手のひらで回ってる

真剣なまなざしでカーリングに挑む男の子と見守るお母さん！


うまく投げられたかなー

はしご車のコーナーはいつも大人気です。長い行列ができていましたが、家族３人で乗れてよかったね。


３人で乗れた梯子車

幼稚園・保育園の子ども達がみんなで作った大きなパネル。毎年会場をにぎやかに飾ってくれます。

沢山の作品の中から子ども達が自分の作品を見つけ、誇らしげに家族に教えています。いつ見ても微笑ましい限りです。


僕たちの作品はこれだよ

来場者の声を伺いました

来場した家族に今回の鯉まつりの感想を突撃インタビューしてみました。

◆今年の警察の所には、白バイがなかったが無料で楽しめるのが良かったです。

◆池の所がきれいになっていてとてもよかった。

◆ゴールデンウィークは毎年ここにきて楽しんでいます。

◆ヤギに餌をあげることができて楽しかった。

◆親子　いつもキャタピラーが混んでいてできなかったが、今年は２回もできてとても良かった。

◆祖母と親子　今回で３回目。バルーンアートがとても楽しかった。

◆コマ回しが上手だった女子高生　鯉まつりは初めて来た。コマ回しは小学生の時にやっていた。

◆幼稚園のパネルが展示されているので来ました。鯉まつりには上の子の時から何度も来ています。

◆保育園でチラシをもらったので初めて来ました。消防車に試乗出来て楽しかった。

◆守谷市から来ました。牛久市出身です。警察コーナーの反射シールが作れてよかったです。

◆取手市から来ました。市内の高校出身です。子ども二人と来てみました。学生時代の友人とも再会できました。

◆千葉から来ました。牛久市出身で鯉まつりは２回目です。

◆奥野地区から来ました。ほぼ毎年来ています。いろいろな体験をしていきたいです。



親子で仲良くモノづくり
親子ふれあい教室

令和7年12月7日、中央生涯学習センターと奥野生涯学習センターの2か所で、恒例の「親子ふれあい教室」が開催されました。体験する内容は、焼き物作り・そば打ち・宝石石けん作り・パン作り等で、普段の生活ではなかなかできないことに親子で挑戦するものです。

焼き物作りは粘土のかたまりをこねるところから始めます。なかなか柔らかくならない粘土に子ども達は苦戦しますが、先生やお父さんお母さんの指導を受けつつ、コップやお皿、どんぶりなどアイデアを凝らした飾りをつけて形に仕上げていきます。焼き上がりがとても楽しみだと皆さんおっしゃっていました。

そば作りは、大きなこね鉢を使ってそば粉からこねていく本格的なそば打ち体験です。


家族みんなで作った作品


２人で力を合わせてこねはじめ

まずはみんなで先生からやり方を教わります。最終的においしいそばをみんなで食べられるよう、しっかりと手順を学んでから作業開始。

体験した子ども達の感想は、そば粉をこねたり、麺を切るのが難しかった。いつも食べている蕎麦が、そば粉から蕎麦になるまですごく大変なことに気づかされた。などが多く寄せられましたが、みんな楽しんでそばを作っていました。できた蕎麦はいつもより数段おいしかったことでしょう。

宝石石けん作りは、透明なせっけんに好きな色の着色材を混ぜてこね合わせ、綺麗な模様の入った石けんを作る体験です。

子ども達は思い思いの形に模様を練り込みまん丸のボール状、ハートの形などを作っていきます。形が出来上がると先生がラップで丁寧にくるんでくれて完成です。

完成品をもって写真を撮る家族や部屋の窓際に用意した宝石箱に飾って写真を撮る家族など。みんな素晴らしい宝物になったね。

今回のパンも粉から生地を作っていく本格的なものです。

粉を練って生地を作るのが楽しかった子やトッピングが楽しかった子、オリーブオイルを入れすぎて反省する子などの感想から、とても貴重な体験だったと思われました。焼き上がりもとてもおいしそうで、取材者も食べたいくらいでした。


おいしくな～れ


完成品は宝石箱にしまいましょう


ふっくらきれいに焼けたね

視察研修は推進大会参加

今回は2月10日（火）に行われた青少年健全育成茨城県推進大会に参加しました。大会では、「家庭の日」絵画・ポスター表彰式や地域で地道に優れた活動を展開している青少年団体等の顕彰式、少年の主張茨城県大会で県知事賞を受賞した作品の披露がありました。

また、一般社団法人泉鳳代表理事の佐東亜耶氏による「〝ふつうの家庭〟ってなんだろう？ ―社会的養護の現場から見えた、家庭のかたち―」を伺いました。氏は児童福祉施設を出た後の子どもたちにも学びの場が必要であると強く感じ『泉鳳』を立ち上げ、社会的養護の子どもたちや若者たちの未来を応援しています。

クレヨンしんちゃんが来た!!

３月８日（日）に「映画クレヨンしんちゃん 超華麗！灼熱のカスカベダンサーズ」を上映し、約１，２００名の方に観ていただきました。

今回は、親子ふれあい教室の参加者に観たい映画を選んでいただき、１位の作品を上映しました。

市民の皆さんのご協力に〝感謝〟

青少年育成牛久市民会議の活動は、市民の皆さんからいただいた会費を基に様々な事業を実施しています。市内の子どもたちや若者の健全育成活動継続に向けこれからもご協力をお願いします。

編集後記

今年の鯉まつりは、市制施行40周年記念での開催であり、池辺の法面がコンクリート階段で面整備されました。他方、ステージの壁面には高校生の協力により、牛久大仏、牛久シャトーなどが大きくきれいに描かれ、来場した市民に感動を与えることができました。すばらしい鯉まつりでした。